

「イエス！次郎（校長室より）」（第6号） 「挨拶の力」

私が以前勤務していた鳴滝高校通信制は、日曜日に授業があるので、基本的に火曜日が振替休日になっていた。嫁さんは、教員を辞めてから、イオン〇〇店で働いていた。私と休みを合わせるために、「火曜日」で忙しいにも関わらず、火曜日を休みにしていた。イオン〇〇店さん、ごめんなさい。

私にとって火曜日は、「不燃ゴミ・資源ゴミ提出の日」であった。不燃ゴミ・資源ゴミの収集が水曜日の朝なので、火曜日の夕方には忘れずに、必ず、喜んで提出しなければならなかった。

その日も私は、右手に不燃ゴミ、左手に資源ゴミを携えて、ゴミ収集所へ向かった。口には当然不織布マスク。「コロナ禍はいつまで続くのだろうか？」そんなことを考えながら、難しい顔をして歩いていた。すると前方に、ピンク色のランドセルを背負って、お母さんと手をつないで歩いてくる小学1年生くらいの女の子を発見した。2人で楽しそうに話しながら、ゆっくりこちらに向かってくる。私は成人した2人の娘たちの顔を思い浮かべ、娘たちもこれくらいの時があったなあと思いながら歩き続けた。

「このままだと、すれ違う時に不燃ゴミたちが邪魔だ。」と思い、資源ゴミを前に、不燃ゴミを後にして身体をひねろうとした瞬間、「おはようござい、あ！間違えた！こんにちは！」と、とっても元気な挨拶が飛んできた。お母さんは横でニコニコ微笑んでいる。たてよのないくらい幸せな気持ちになった私は、不織布マスクが外れそうになるくらい笑顔になって、「こんにちは！ありがとう！」と返した。

すれ違った後も、ゴミ収集所からの帰り道も、私はずっと笑顔だった。そして気付けば、「火曜日は なんかちょっと 嬉しい♪ 火曜日は なんかちょっと ワクワク♪」と、「火曜日」の歌を口ずさんでいた。「挨拶の力」って凄い。この日から、毎週火曜日が楽しみになった。

本校では、私が、「イエス！」と挨拶すると、生徒の皆さんが、ニコッとしながら、「イエス！」と返してくれる。学校でも、街中でも、部活動の試合会場でも。ありがたいことだ。「挨拶」は、人の心を幸せにしてくれる力がある。諫早高校・附属中学校に関わる全ての方々が、幸せになりますように。

